



名企企第3号
平成19年4月25日

国土交通省道路局長 様

北海道 名寄市長 島 多慶志



道路整備の中期計画作成に関する意見の提出

標記について、道路特定財源の見直しに関わる中期計画の作成にあたり別添の通り意見を申し上げます。

(担当：総務部企画課 電話 01654-2-5308 内線 3303 森田)

道路整備の中期計画作成にあたっての意見

意見提出：北海道 名寄市長 島 多慶志

1. 計画の重点化を進める上で特に優先度の高い政策

広大な面積を有する北海道では、地方鉄道路線の廃止により、総合交通体系の中でも自動車交通への依存が極めて高く、日常生活や生産活動の基盤として道路交通ネットワークの整備が必要です。地域構造は、保健医療福祉圏が6圏域で構成されているように広域分散型であり、全国を上回るスピードで進む人口の減少と少子高齢化に対応するために、都市施設が集積したこの圏域間の高規格幹線ネットワークの早期構築が必要不可欠な状況となっています。特に道北地域における北海道縦貫自動車道は、道路交通ネットワークの根幹として、全国の食料自給率を支える農畜産物の輸送や北海道遺産に選定された天塩川を主軸とした観光振興などに重要な役割を担っています。また、上川北部地域では、医療環境の悪化から名寄市に存置する地方センター病院への救急搬送患者がますます増加していますし、大きな災害発生時においては、名寄駐屯地から自衛隊員の速やかな派遣が可能になるなど地域住民の生命と財産を守る大切な路線として早期完成を熱望しています。本市におきましては、地域住民が共に安心して暮らせるように高速道路へのアクセス道路の整備を計画的に進めておりますので「士別剣淵・名寄間」や名寄以北の高規格道路整備及び既存道路網の維持管理等について、中期計画に盛り込んで頂きたいと思っております。

2. 計画の効率化を進めるための経費節減と利便性向上のポイント

道路網整備は、集中的に進め早期に供用してその効果を発揮しなければ道北の過疎地域における生活環境を保持することが出来ません。併せて高度成長期に整備された道路の維持・補強を計画的に進め耐久性を延ばしていく必要があります。限られた道路財源を有効に活用するためには、イニシャルコスト、ランニングコストの縮減策として道路の構造設計をはじめ、地元企業の参加で設計諸経費の節減を図ると共に高速有料料金の値下げや既存の道の駅とのアクセスとなる乗り口・降り口を設けて、利便性を高める配慮をしなければなりません。また、工事の施工管理や構造物の材質選定の観点においては、冬季施工を出来るだけ避けることも節減となるでしょう。

3. その他

道北地域で既に供用開始した高規格道路は快適で安全性が高く、一般道路での交通事故が激減しています。特に豪雪寒冷の当地域における冬道は、高齢者も安心して利用できることや、近年の東アジアからの冬季観光客を安全に誘導するための重要な道路施策として推進する必要があります。